



タケの子ミニかわら版

さいとう武次郎

市政報告
〒712-8046
倉敷市福田町古新田781-8
TEL 086-450-0555
FAX 086-450-0556
E-mail info@takejiro.net



2015年度に中洲幼稚園を認定子ども園に

認定子ども園への移行は 倉敷地区3園・児島地区3園・玉島地区2園

幼稚園3歳児保育を5園拡大
幼稚園預かり保育を6園拡大

公立保育園、3園で給食調理を民間委託

子ども・子育て関連3法の施行により、「満3歳からの質の高い幼児教育及び保育の総合的な提供」が求められます。

9月議会で、定員150人以上の大規模公立保育園、3園で給食調理業務を民間委託する予算が認められました。

そのため、最大で約1,200名のこれまで幼稚園・保育園に通っていなかった3歳児の幼児教育及び保育の希望が出てくる可能性があります。

10月31日の保健福祉委員会で、その実施園を水島保育園、第一福田保育園、まきびの里保育園に決定した旨が報告されました。

そこで、倉敷市では、「公立幼稚園・公立保育園の適正配置計画」(2015~2019年度)を策定しました。その概要は以下の通りです。

今後、保護者説明会が開催され、2014年度からの実施が予定されています。

2015年度に、連島保育園を民間委託へ

(1) 幼稚園の多様化について

公立保育所第2次民間委託計画が発表されました。

① 3歳児保育を5園程度拡大

2015年度に連島保育園を公募により民間委託します。その後、2016年度と2017年度に1園ずつ委託する方針です。

2014年度は大高幼稚園と中洲幼稚園で実施。

② 預かり保育を6園程度拡大

民間委託により、生後57日目(現在は生後11か月)から入所可能、開所時間を7時~19時(現在は7時30分~18時)となり、保育サービスの充実を図ります。

2014年度は大高幼稚園、葦高幼稚園、庄幼稚園で実施。

(2) 認定子ども園への移行について

2012年の倉敷市内の自殺者は81人

① 倉敷地区

待機児童対策として、2015年度以降順次、3園程度の幼稚園を認定こども園へ移行。

2012年の倉敷市内の自殺者が81人で、前年に比べ、1人減少したことがわかりました。全国や岡山県に比べて減少率が低いこと、自殺者の内、14.6%が80歳以上と多くなっていること、自殺原因のトップが経済・生活問題になっていることが気になります。

2015年度に中洲幼稚園を認定子ども園に移行。

② 児島・玉島地区

集団規模の適正化のため、小規模幼稚園と保育園を統合し、2015年度以降順次、認定こども園へ移行。

尚、交通事故死亡者は23人で前年より1人減少、ガンによる死亡者は1,263人で前年より185人増加しています。

認定こども園への移行は、児島地区で3園程度、玉島地区で2園程度を実施。

(3) 幼稚園の統合、保育園の統合について

① 保育園の集団規模の適正化のため、1園程度の保育園の統合を実施。

② 船穂・真備地区において、今後、幼稚園の統合を検討する。

倉敷市内の原因別死亡者数(単位:人)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
交通事故	29	30	22	28	19	22	24	23
ガン	1,013	1,079	1,121	1,133	1,194	1,220	1,078	1,263
自殺者	86	87	97	77	98	87	82	81